

かわさきTEKTEKが第13回「健康寿命をのばそう！アワード」

スポーツ庁長官優秀賞を受賞しました

本日、ウォーキングの成果を子ども達（市立小学校等）に還元するスマートフォンアプリ「かわさきTEKTEK」が厚生労働省及びスポーツ庁が主催する第13回「健康寿命をのばそう！アワード」（生活習慣病予防分野）においてスポーツ庁長官優秀賞（自治体部門）を受賞しました。

1 「健康寿命をのばそう！アワード」とは

「健康寿命をのばそう！アワード」は、厚生労働省が推進する「スマート・ライフ・プロジェクト」の一環として2012年にスタートし、健康増進・生活習慣病予防推進に向けて優れた取組を行っている企業・団体・自治体を表彰するものです。また、スポーツ庁長官優秀賞は、特にスポーツ・運動を通じて優れた取組を行っている企業、団体、自治体を表彰するものです。他の模範となる取組を奨励・普及することにより、健やかで心豊かに生活できる社会の実現を目指すことを目的としています。

2 受賞件名

表彰区分：スポーツ庁長官優秀賞（自治体部門）

応募事業名：かわさき TEKTEK

【問合せ先】

川崎市健康福祉局保健医療政策部保健医療政策担当 土元

電話 044-200-3989

取組について

かわさき TEKTEK は「川崎市健康増進計画―第2期かわさき健康づくり 21―中間評価と今後の方向性」において、働き盛り世代を中心に運動に取り組む人が少ない傾向がみられることから、この対応として、どのような環境においても無理なく継続して取り組みやすいウォーキングにより市民の健康意識を高め、健康行動の習慣化を促進し、更にその成果を「子ども達」に還元する取組として開始しました。

スマートフォンのウォーキングアプリを活用し、歩くとアプリ内にポイントが貯まり、そのポイントを応援したい川崎市立小学校（小学部のある特別支援学校を含む）を選んで寄附することができます（年度末に寄附の受付締切）。学校では寄附されたポイント数に応じた応援金（原資：企業等からの協賛金や競馬・競輪の収益金等）を市から受け取り（学校ごとに上限を設定）、子ども達の学校生活を充実させるために活用します。学校では子ども達が話し合っただけで応援金の使用用途を決定し、事前にアプリに掲載します。参加者はその内容を見て学校を選択するため、参加意欲の向上に寄与しています。また、寄附ポイントに応じて付与されるチケットで、協賛企業からの応援特典の抽選に応募できます。応援特典は、極力企業・団体の特性を活かした「体験型のコト消費」にするよう依頼し、川崎フロンターレのクラブハウス体験会や川崎ブレイブサンダースの選手バスケット教室等、川崎市ならではのユニークな内容になりました。持続可能な事業にするため、協賛品をすべて無償で提供してもらうかわりに、アプリ内バナー広告掲載など協賛企業にとってもメリットがある仕組みとしました。

開始半年で登録者5千人を目標として令和5年10月にアプリをリリースすると、参加者の口コミを中心に取組の輪が広がり、令和6年3月末日時点の登録者は目標を大きく上回る4万6千人超となり、ほとんどの小学校が寄附目標金額を達成しました。参加者確保の取組として、小学校へのチラシ配布や市政広報、アプリの機能を活用したサッカー元日本代表の中村憲剛さんとの歩数対決イベント等を企画しました。しかし、大きな効果を発揮したのは学校や地域などの自発的な広報活動、更には参加者の口コミ活動でした。小学校では学級通信やオリジナル動画、ホームページなどで保護者や地域に呼びかけるほか、PTA などではアプリのグループ機能を活用し、学校ごとの保護者チームなどを作成し声を掛け合っただけで参加者を増やしていきました。その他にも地域の商店街イベントでの自発的な広報活動や個人や企業の SNS への自発的な掲載による拡散などで広がっていきました。事業開始後半年を経過した時点で実施したアンケート結果から、約9千人の普段運動していなかった人がこのアプリをきっかけとして運動するようになったという結果が出ています。

コロナ禍の閉塞感の残るなか始まったこの事業は、庁内他部署の様々なイベントとのコラボレーションや市内商業施設や商店街での活用の問い合わせが多く寄せられており、アプリが自立して成長し続けています。令和5年度は54の企業等から協賛を受けましたが、新たな企業から協賛のご相談をいただいています。「かわさき TEKTEK」は、課題であった働き盛り世代の運動不足解消に留まらず、新しい地域の交流や子ども達の沢山の笑顔ももたらしてくれました。家族、PTAの集まり、地域のイベント等の人と人との繋がりが取組の輪を広げ、人と人を繋いでいきます。